

平成 31 年度国際交流センター事業計画書

国際交流センター長 国重 徹

I. 年度計画・目標

「スポーツ・異文化理解・語学の 3 本柱を有機的に結びつけた活動を行うことにより、本学のグローバル化を推進する」という国際交流センターのビジョンに基づき、以下の目標を達成する。

1. 海外短期研修プログラムを継続・発展させる。また海外の交流協定校等からの外国人留学生の受入を推進する。
2. 2020 年度の開始を目指し、現カリキュラムを改善した新カリキュラムを完成する。
3. スポーツ・武道を通じた国際交流活動を推進する。
4. 留学生と日本人学生の交流を推進する。
5. 国際スポーツ・アカデミー事業を支援する。

II. 事業計画

1. 国際交流・グローバル化プロジェクト

- ① ハワイ短期研修プログラムの継続・発展のため、語学研修先であるブリガムヤング大学と覚書の締結をする。
- ② 交流協定校への短期留学を推進するため、昨年度始まった交流協定校との短期（4泊5日程度）研修プログラムを継続する。昨年度は国立体育大学（台湾）へ学生を派遣したので、今年度は海外交流協定校から学生等を受入予定。
- ③ オーストラリア（シドニー）、米国（ハワイ）短期研修プログラムの単位化に向けて必要な手続きを行う。
- ④ ハワイ州立大学マノア校のチアリーディングチーム及びマイクコーチを招いた国際交流イベント実施（2020 年 4 月予定）に向けて、関係部署との調整や準備を行う。
- ⑤ 留学生と日本人学生とのスポーツ・武道を通じた交流イベントを企画・実施する。
- ⑥ スポーツ・武道を通じた海外アスリートとの国際交流プログラムを立案し実施を目指す。
- ⑦ 国際スポーツ・アカデミー事業を支援する。

2. 教育プロジェクト

- ① 2020 年度の開始を目指し、現カリキュラムを改善した新カリキュラムを完成する。
- ② 新入生に対する英語プレイスメントテストを実施する（2019 年 4 月）。
- ③ 2 年次生に対する英語アチーブメントテストを実施する（2019 年 12 月予定）
- ④ TOEICIP テストを実施し（年 5 回）、財団に受験料補助を申請する。
- ⑤ 「いんぐりっしゅ☆る～む」を実施する。

予算計画（単位千円）

国際交流センター経費 2600 千円

区分	金額	算出内訳
人件費	840 千円	学生アルバイト、講師謝金
物件費	1310 千円	消耗品費、保守・整備、教材費
その他	450 千円	会議旅費、広報活動費、通信費等

その他

1. 会議開催, 参加予定

- ① 国際交流推進委員会の開催
- ② 国際交流センター定例会議の開催（毎月 1 回）
- ③ 全国国立大学法人留学生センター長及び留学生課長等合同会議（11 月群馬）
- ④ センター非常勤講師等との打ち合わせ・情報交換会の開催

2. 広報活動

- ① センターWeb サイトの更新
- ② センターFacebook へのセンター事業の写真、記事の掲載